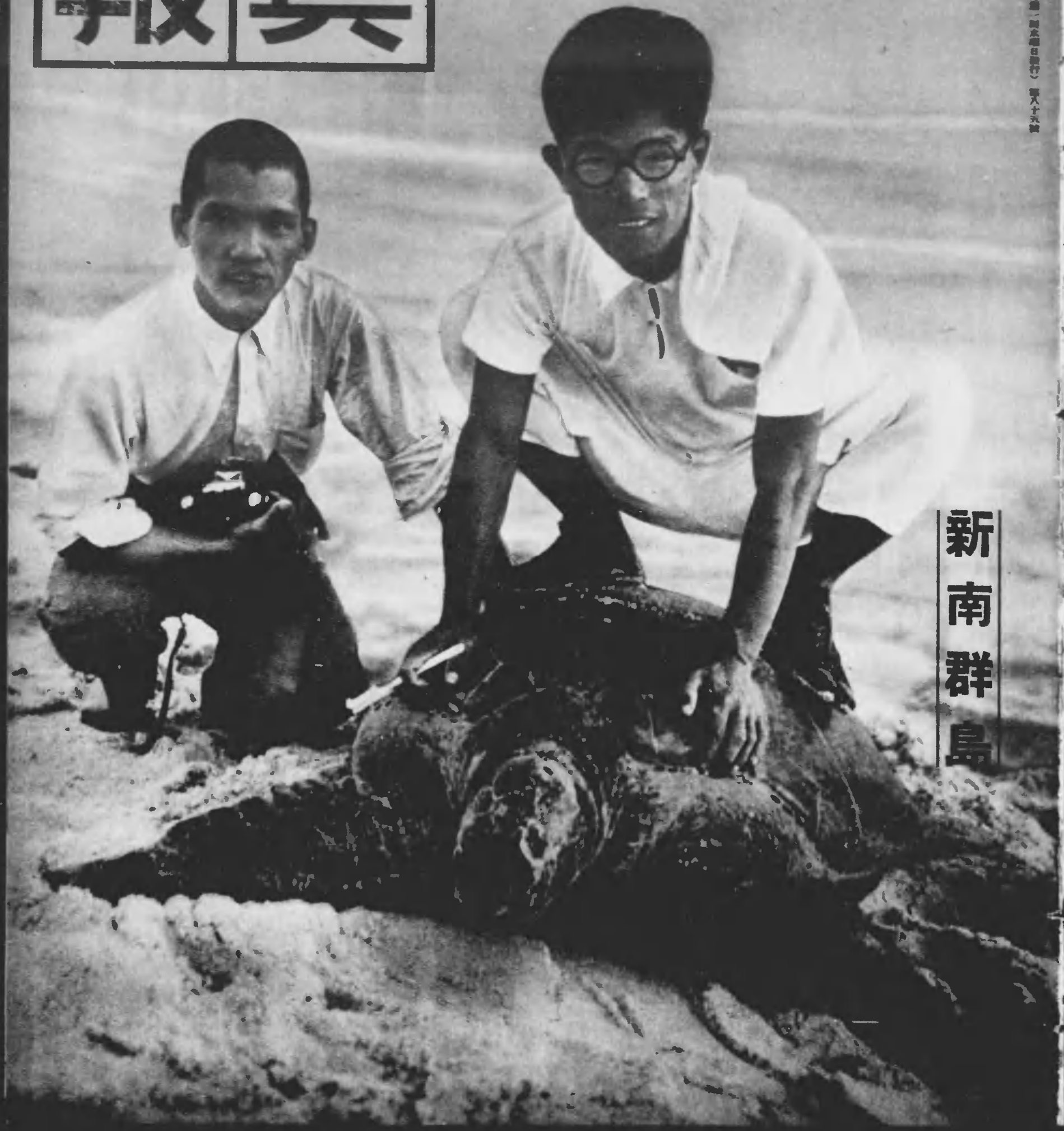


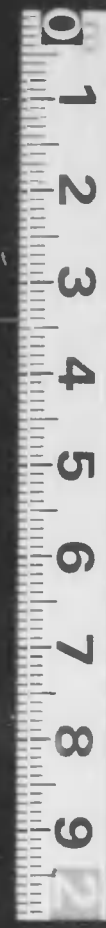
週寫
報眞

編輯部報情閣内
ンセ十・號五十八第・日四月十

昭和十四年三月十日 第百八十九號



新南群島





撮影 都新聞社

**赴任の途につく
西尾大將と板垣中將**
 事變處理の飛躍的前進を目
 指して支那派遣軍總司令部が
 編成された。
 この大野戦軍の總帥として
 二年有餘にわたる聖戦の掃き
 なき成果を今こそ大陸の山野
 に確立すべき重要任務を帯び
 た支那派遣軍總司令部西尾大
 將は九月二十五日朝東京
 驛發のつばめで總參謀長板
 垣征四郎中將を隨へ帝都を擧
 げての歡呼の聲に送られ勇躍
 第一線の任地へ向つた



旅に讃へよ
 祖國の次女

吉野神宮神域より
 吉野朝の御事蹟を偲ぶ

鐵道省



ノモンハン 停戦協定成る

ノモンハン方面のソ連軍は去る八月二十日に至り其の兵力を増加し、我が軍陣地の両側面に對し攻撃を再開し來れり。よつて我が方も一部兵力を増加し激烈なる戦闘を繼續せり。本戦闘に於ては雙方孰れも相當の損害ありしが九月に入るに及び軍況遂次平靜に歸し爾後外交交渉に入り、遂に本日停戦することに意見の一致を見るに至れり。

去る九月十六日、大本營陸軍部から發表されたこのノモンハン停戦協定により去る五月以來敵次に亘つて繰返されたノモンハン附近における戦闘は全く中止された。

- 1 九月十七日午後四時、ノ口高地（ハルハ河畔）における兩軍軍使の歴史的會見
- 2 九月十八日、停戦協定第一回現地交渉に出發するわが軍交渉委員
- 3 九月十八日、現地交渉の行はれてある事案を巡り、日滿軍通信兵はその實況を對々後方へ報知する
- 4 ハルハ河畔、日滿、ソ連兩軍第一線陣地の中間軍線上に設けられた交渉場舎へ入るソ連交渉委員
- 5 兩軍代表の最初の會見、左前向側はわが軍交渉委員長藤本少將、右前ソ聯代表ボタホフ少將
- 6 ソ聯軍側從軍記者中のカヌラマンはアイモを撮影するわが軍代表を本入りに撮影する
- 7 交渉現場で從軍記者團に交渉状況の發表打合せをするわが軍報道部

ハルハ河に銃聲を交へて五月いよ／＼最後の攻撃に移らうとしたわが軍は九月に入つて遂に攻撃準備を進め九月十日にはその準備を完了してまさに進發の態勢にあつた。ソ聯軍もまたわが軍の兵力増強を知りこれに對する兵力を集中無氣味に相對した。

しかしこの時意々重大化の一途を辿りつゝあつた歐洲情勢は遂にソ聯當局にソ滿國境紛争の非を悟らせ、事件は日ソ間の外交交渉によつて急轉直下解決、久しく暗雲低迷したノモンハン附近の曠野にも再び明朝な陽光がさし昇つたのであつた。



撮影 日滿通信社映畫部



江西南新戦展開る



武漢作戦終了以後岳州、武漢、通城等洞庭湖東岸地区に敵と対峙しつゝ警備中であつたわが精銳部隊は、去る九月中旬ごろから新行動を起し、長沙に司令部を置く敵第九戰區軍を撃滅すべく、一齊に進撃を開始した。

この方面の敵は中央直系軍、四川軍等を含せた六十個師、約四十萬の大軍であつて、昨秋半岳州前線の新堤河、及び汨水兩岸に數線に及ぶ堅固な陣地を構築し、わが進撃防備に狂奔してゐたのであるが、わが軍は全線一齊に大規模な火蓋を切るや、或は海軍部隊協力の下に洞庭湖南岸に奇襲上陸を敢行、或は汨水と相ついで渡河進撃、饒峻な山嶽を攀ち敵の破壊した鐵路に備みながらも隨所に敵を撃滅して、九月二十八日には、早くも長沙を中心とする敵大軍は大混亂に陥つてゐると傳へられてゐる。

西に歐洲戰爭勃發して第三國からの援助絶えた蔣政権は今や潰滅の一途を辿りつゝあるといふべきであらう。

↑ 新堤河敵前渡河のわが騎兵部隊



⇨ 洞庭湖上秋色すでにたけなは、浮葉もそのまゝわが兵は進む

⇩ 洞庭湖南岸地點に見ると奇襲上陸を敢行したわが精銳部隊



撮影 讀賣新聞社



撮影 臺灣總督府



大日本帝國領土を明示する標石。いまや日章旗は南十字星の下に輝く

切れた人影に海鳥の群は
大空一杯に舞ひ上つた。
南十字星の帯はこの海鳥の卵で踏み潰さない程である

木の香も新しい高雄市の標本と臺灣總督府調査員

新南群島は北緯七度乃至十二度、東經百十一度乃至百十七度南支那海上に点在する島々で、本年三月三十日臺灣高雄市の管轄下に編入されたこの島は面積僅か十二萬坪の長島を最大主島とする小さな島十三からなる群島で地圖の上では、南海の熱風と黒潮の間に漂ぶ粟粒程にも見えない珊瑚礁の小島ではあるが、わが南方生命線の新しい觸手として颯爽と浮び上つて来たのである

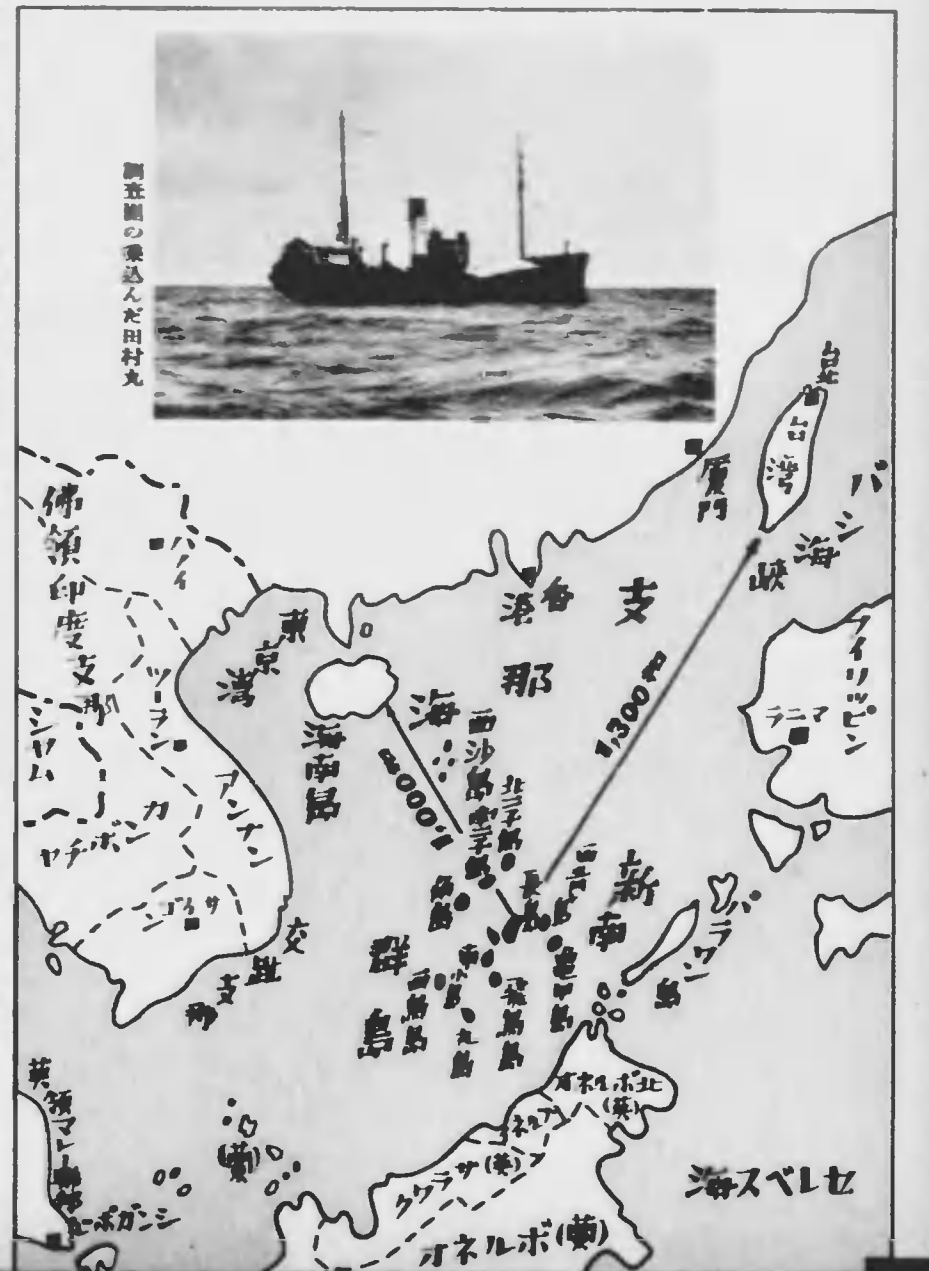
南海の黒潮に乗る鰻、鮪等の魚類や高瀬貝、しゃこ貝、その他海鳥、海龜等はこの近海に非常に豊富であり、この附近は颱風發生の圏内であるが殆んど颱風を知らぬ漁場であつて、その将来性には洋々たるものがある。更にこの群島が經濟的に注目されるものとしては、殆んど全群島を覆ふ礫化石質燐灰土——海鳥群の糞から分解して生じた可溶性磷酸化合物が雨水に溶けて地下に滲入し、珊瑚礁を形づくる炭酸石灰に作用して生じた燐礦である。わがラヂオ協會社は早くも、大正十年から昭和四年にかけて長島を模範地としてこの燐礦を採掘してゐた

長島を除く島は全部無人島であつて、空を舞ふ信天翁(通稱アホウドリ)シロフバ、南洋鳥、軍艦鳥等の群は全く島の王者であり經濟開發の先驅者である。この豊富な漁場と全群島を覆ふ燐礦を中心として、經濟開發を待つ新南群島は、今や水い眠りから醒めようとしてゐる

臺灣總督府は同群島の高雄市編入とともに調査團を送り同島の經濟開發に關する色々な調査を行つたがこゝに掲載した写真はこの調査團によつて撮影されたものである



高雄市高雄市の調査員



調査團の乗込んだ田村丸



↑ 珊瑚礁に珍らしい長島の
大木で周囲七米高さ三十
米

↑ ジャングルの中で採掘
の調査をする調査員

↑ 長島に次いで多量の採
掘を認める南二子島、調
査員はラサキ採掘会社の
活躍時代に掘られた井戸
に注意の目を注ぐ

↑ わがラサキ採掘会社が南
二子島で採掘した採掘の
堆積

↑ 採掘した採掘を運搬す
るためかつてラサキ採掘会
社の手で長島に敷設され
た電線の軌道が今は雑草
に埋れてゐる

新南群島

↓ 灌木生ひ茂り一米もあ
る深い草原に覆はれる北
二子島。どうしたわけか
海鳥はこの島に全然棲息
しない

← 長島の邦人住宅



加州の邦人

文部省練習船日本丸海王丸の歸丸



帆船練習、加州の邦人

帆船練習で太平洋横断の壮業をとり、一萬二千六百四十四海里を走らせた文部省練習船日本丸及び海王丸は、五月十七日、東京出帆以來九月に亘る洋上遠征に終り、母国に歸船した。練習生を乗せ、九月十八日再び東京港に歸つたが、兩船がこんど航海に學んだ貴い経験、香港にサンフランシスコ及びハワイのヒロで在留邦人からうけた感懐を日本丸の船長西澤真直氏に聞く。

海上は連日至極平穏、暁は初夏の陽光爛々として、夜は月影が美しく波に砕けて平和なもの、やうな大洋の姿です。若しこれが汽船に乗つての航海なら、こんな有難い、楽しい航海はないでせう。所が、われわれにはこの平和な海が反つて有難くなく、非常な難航をつづけねばなりません。兩船共勿論機関は具へておまふが、帆船である以上帆走するのが原則ですから、どうしても適宜の風が欲しい。一杯に帆を張つても船は鈍く、兩船が編隊を保つてゆくにも骨が折れ、練習生たちは眞黒に

文部省の練習船が編隊を作つて連洋航海に出るのはこんどがはじめてですが、日本丸や海王丸のやうな大型帆船が、大航海の波を劈つて編隊航海をするのは、中世時代ならいさ知らず、現代では恐らく想像の範囲でせう。練習生も職員も元氣一杯、日頃の訓練で鍛へた實力を示すのはこのときと、遙かに見える富士の姿に成功を誓ひながら勇躍太平洋の彼方に向つて乗り出したのでした。

灼けた眼を凝視さうにさすりながら一暴風雨でもやつてこないかなあ、と沖の空をにらんでつがやく日が明けては喜ばれ、それでもこの人力ではどうにもならぬ天候を最大限に利用し、幾多の貴い経験を積んで航海をつづけること五十一日、七月七日、支那事務勃発二周年の意義深い日、兩船は東京出帆のときと同様、相並んで有名な金門橋をくづつて

在留邦人殊に二世の人たちに對しても大きな意義があり、成功だつたといはねばなりません。第一世の人たちは渡米以來、辛苦艱難の後、今では農業に兩業に、各方面に非常な發展を遂げて生活も安定し、アメリカ人にも日本人の情さを認めさせておまふが、それでもアメリカ人の物質生活に比べるとまだ多少の懸隔があるのは否めません。そこで、以前は二世の人たちは自分が日系であることを卑下して、ただ徒らにアメリカ人化したい願望にかられてゐる傾向が強かつたやうです。これはアメリカに生れ、アメリカだけを知らず組國を知らない彼等としては或は無理からぬことであつたかも知れません。滿洲事變以來、しかし、かうした二世世の間にも、組國に對する懐れの感情が次第に湧きあがつて、組國を知るために日本に來る二世の数もやうやく多くなりました。一度日本に來て分れば、組國日本は彼等が今まで想像してゐたとは違つて、如何に強く、すぐれた國であるか、殊にアメリカにはない精神的偉大さを沁々と感じて歸るのである。一人が組國の實情を傳へれば、他のものもなるほど、これでは一度日本へ行つてみたい氣になり、二世の組國日本に對する見方が次第に變つていつたのですが、こんどの事變は、彼等に決定的な生活方針を與へてしまひました。

われわれはアメリカの市民ではあるけれども、やつぱりわれわれは大和民族なのだ、われわれの身體にはいつまでもつても變らぬ皮膚の色と同様、變らぬ大和民族の血が流れてゐるのだ、この大和民族の血が流れてゐる限り、自分らの生活のより所となるものは日本精神であり、この日本精神を把握し、これによつて生きてこそはじめて優秀なアメリカの市民となりうるのだと考へるやうになりました。

わが上陸すると早速その日から、何でもよいから事變の話をしてくれ、といふ在留邦人の切望に取り巻かれてしまひました。この熱誠に感懐した我々は、職ランシスコに在留邦人



金門橋にやならを告げる海王丸からサンフランシスコ市をへかみ、となつた萬國博覽會の萬景がくつきりと空にそびえてみえる

民と遊きぬ名残りを惜んで、サンフランシスコを出帆したのは七月十五日、一路ハワイをめざして南船再び航行して歸航の途につきました。こんどは往航のときとは違つて貿易風に吹かれ、われわれでなければ味へぬ快い航程をたどることが出来ましたが、練習生は好條件に氣をゆるめず、よく緊張して訓練に勵んでくれました。

この日も又在留邦人はわれわれに一錢の日本金をも使はせまいと、船には積みきれない位の牛、豚、鶏肉、野菜等を寄贈してくれ、恤兵金を集めて廻る等、涙の滲むばかりの組國を思ふ心に、我々も持參の映画を持ち廻つたり、島の人たちの共同演藝會に参加したりして得たお金を、恤兵金として献金することにしました。かうして在留邦人から集まつた赤誠こもる金額は全部で實に一萬七千弗(邦貨約六萬八千圓)に達しました。在外邦人のこの溢れるよけりの愛はたい感懐の他はありませんが、幾千裡の波濤を越えた彼方にも、かうしたわれわれの同胞のあることを知つて、實に力強く感じつゝ、故國への最後のコースに ついたのです。



サンフランシスコに入港したのです。こゝは日本の大きな商船が始終入港する所ですから、日本の船が入つても別に珍らし、わけではありませんが、編隊の帆船が日の丸の旗を翻かせつゝ、モダンな金門橋下を堂々通過する様は、流石にアメリカ人の目を驚かせたやうです。アメリカ官憲の今までのない好意で、直接機橋に船を横付けると、こゝには日の丸の小旗を持つた大勢の在留邦人が、はる／＼訪ねてきた自分の家族をでも迎へるやうに、熱狂してわれわれを待つてゐてくれました。機橋の上で、この見知らぬ人たちがと握手をしたときは日本、日本！と胸にくりかへしなら、感激で目がくらみかへりました。



いふ無意に燃えておます。その一例として、こゝに貯蓄獎勵會が作られてゐて、ヒロに本部を、各地方に支部を置き、各戸に分相當の金額を定めて貯蓄を勵行しておます。この他、便船に托して戦地へ發送する慰問袋の數も毎回相當な數に上つてゐるやうです。



サンフランシスコ萬國博覽會の日本館

ガスを節約しません

主婦心得帳

事變以來、石油の消費が極度に制限されてゐるため、生産力補充の時期燃料としてガスは最近その需要が急激に増加してきました。
 ガス事業者は今ガスの増産に全力をあげてゐますが、まだ不足がちです。そのため一般家庭のガス消費は、少々都會生活に不便は来しても出来るだけ節約しなければなりません。
 あなたのところのお家所では果してガスを合理的に使用してゐますか？—この際、ガス使用心得を再検討して、少しでも無駄のないよう、わが家のため、お國のため、充分心がけませう。

- 1 ガスにかける前、鍋、釜、湯わかしの底が濡れてゐたら必ず水気をふきとりませう。
- 2 マッチをすつてからネジを開いて火をつけませう。
- 3 鍋の大小に應じ必ず空気孔を調節して適當に空気を吸ひこませいとも青い炎をたてさせてガスを完全に燃やすようにさせませう。点火した時に「ゴ—」と音を立て、臭氣のする時はいつたん火を消して空気を加減してから改めて点火します。
- 4 鍋と容器との距離は鍋の上部が容器の底に軽く接觸してゐる程度が一番經濟的です。これはガスの炎は先端が最も火力が強いからです。
- 5 一度沸騰したら冷めぬ程度に火加減を弱くしませう。
- 6 ガス器具は手入れを怠らず時々掃除をし、ガスを能率的に燃やすように努めませう。普通掃除の仕方はまず油紙巾でよくふき、火の出る口をブラシかタワシで掃除をし、穴がつまりつてゐたらキリで汚れをとりませう。



- 7 お鍋の底に焦つてゐる黒い塗料は熱をよく受けつたへるためのもので、それを磨き砂などで磨いて白くしてしまふのはガスの間接的な浪費になります。
- 8 薬種のお湯はさつきから煮えたとつてゐるのに離も居ません。こんな無駄と危険は絶対にやめませう。
- 9 同じガス量でも空気孔調節の適不適で非常に効果がちがひます。写真はベーター（アレンゼン）による比較、右は空気孔調節、左は不適、不完全燃焼で赤い炎が出てゐます。こんな炎ではたいむやみとガスを消費するだけで茶碗一杯のお湯さへ容易にわきません。

撮影 吉田 榮





猛烈さを物語る獨逸爆撃の跡
 ポーランド全土に対するドイツ空軍の爆撃は猛烈であるが、殊に激戦を極めた西部地帯に対する爆撃は凄じい限りであった。写真は、地方もなく破壊しつくされたテイルシヤウ停車場とワイクセル橋



増減するポーランドの軍事據点
 ダンチヒに近いウエストタープツの町——こゝにはわづかなポーランド兵が最後まで抵抗をついけたが、地上、海上からするドイツ軍の砲撃についに火災を起して破壊した



ドイツ緊急國會召集
 九月一日早晩ヒトラー總統は、全國軍にポーランド進駐開始を命令、ダンチヒの併合を宣言、續いて思つまるやうな緊張と興奮との裡にベルリン、クロール、オベラにドイツ國會を召集、ヒトラー總統は嵐の如き拍手に迎へられて、ドイツの悲壯な決意を披瀝した。



獨逸に群れる主な羊群
 ポーランド全土の制空権を握つたドイツの空軍は、縱横にその威威を振つてゐるが、はてしないポーランドの草原は彼等に取つてそのまゝ、耕好の飛行場となる。今は主を失つた羊の群が、敵國の爆撃機とも知らずに群れ寄る様は流石に哀れをとめる

カッツは燈火管制下のベルリン



借過外海

會協民英

東京週報 昭和十五年三月十二日 第三編 昭和十四年十月四日発行 第八十五號

…敵の康健と美

!よせ逐驅を漏膿 齒シム



用 藥

クラブ歯磨

八大專賣特許をもつ……



この強い清浄 薬効力は 他に求められぬ！

最近の進歩せる殺菌剤は単に殺菌のみを目的とするものでなく進んで病源をつきその治療的効果を發揮します。薬用クラブ歯磨に應用せる殺菌剤クロールカルツアクトロール、ロドチマーはいづれも殺菌力に於て他の追随を許さぬのみでなく強い薬効的作用を有します。ムシ歯、口臭、歯槽膿漏その他の口中疫患を防止するものこの威力あればこそです。

内閣印刷局印刷發行

(刊例・紙價・A4紙規定額は2大の書本)